

にかほのこれから

未来へ向けて

平成17年10月1日、仁賀保町、金浦町、象潟町が合併。にかほ市が誕生しました。

その後、TDKの都市対抗野球制覇、国体や種苗交換会の開催、日沿道市内開通など、喜ばしく、市民の心を高揚させる出来事があった一方、世界的な経済不況に伴う市内経済と雇用環境の悪化など、生活に不安を感じさせる状況が続いています。財政難、少子高齢化、人口減、人材流出、産業の低迷など、地方が抱える諸問題は暗い影を落としています。

前例踏襲が通用せず、新たな道筋を考え、自ら決断しなければならぬ時代。合併5周年を迎え、課題を真摯に見つめつつ、市民としての意識や、将来へ希望をつなぐ提言を諸氏に語っていただきました。

「市民一人ひとりが、自立した意思を持ち、にかほの将来を考えて欲しい」広報にかほから読者への願いです。

一緒に考えください。(本特集は7ページまで)

市政に関するご意見と
本特集に関する問い合わせは…
企画情報課広報広聴班
☎43・7510

ご提言いただいた方々(インタビュー形式)

横山忠長氏(にかほ市長)

渡部幸悦氏(にかほ市工業振興会会長)

菊池史利氏(秋田魁新報社記者)

特別寄稿

竹内 智氏(山梨大学大学院教授)

以降、敬称略

横山忠長の言

ちょうど5年前、私は、象潟町長として、旧3町の閉町と新市の誕生に立ち会いました。一抹の寂しさとともに、未来への希望が胸にあつたことを覚えています。紆余曲折した合併協議の末、旧3町の歴史を閉じ、新にかほ市が誕生しました。

少子高齢化と人口減少・人材流出、地方分権への転換、自治体財政への不安など。私自身を含めた行政側の人間も、多くの住民も、大きな危機感を持ちながらも、将来への夢と希望を持って、3町の合併を選択したと考えます。従来のままで進むか、方向を変えて舵をきるか。平成の合併は、地方分権へ向けた受け皿の強化のため、国と県が強力に推進したものではありませんが、我々皆が地域の将来を考え、自ら舵をきる決断をし、にかほ市が誕生したのです。

それから5年後の現在、地方を取り巻く状況は当時と大きく変わっていないばかりか、リーマンショック以降の景気低迷による市内の経済活動への影響は

大きく、雇用対策など、課題はさらに増えています。市の住民登録者数(国勢調査数とは異なる)は5年間で1、400人ほど減少しました。今年度の一般会計予算における自主財源は25.6%と、3割自治にも届きません。全国的に平成合併の効果には、否定的な評価が住民アンケートなどに表れているようです。

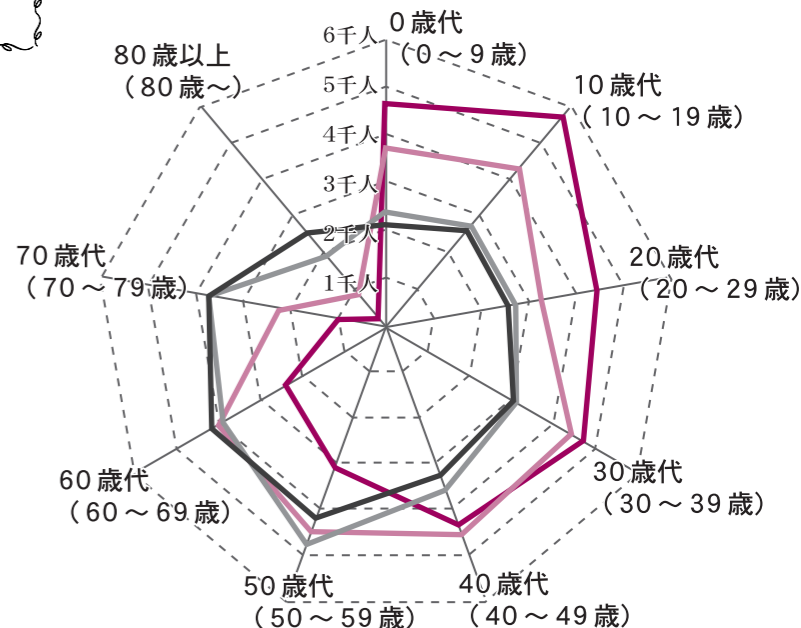
しかし、市町村合併は、その本来の効果が現れるまで、10年程度の期間が必要と考えられています。にかほ市はまだ半分を経たばかりです。

自治体の行政運営を取り巻く状況に大きな変化はないもの、にかほ市の基盤づくり、まちづくりの形はできてきたように思います。国保税や水道料金を統一したことなど、あくまで分かりやすい一例ですが、行政サービスの格差を、大方是正することができました。

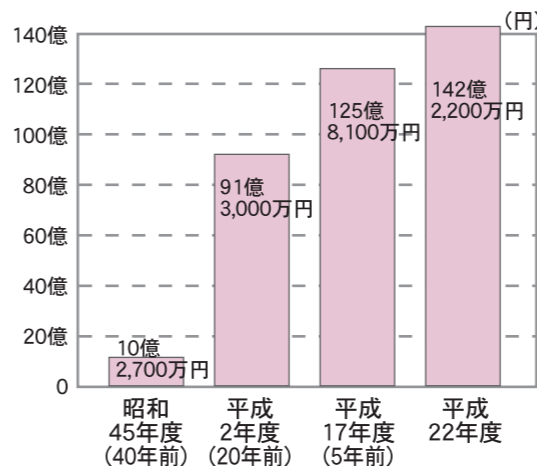
合併翌年の、TDK硬式野球部による都市対抗制覇。TDKサッカー部(現BB秋田の母体)のJFL昇格。市民が心を熱くしました。秋田国体のサッカー、空手道競技、種苗交換会でも多くの市民がボランティアなどと

◆人口の推移(世代別)◆

昭和45年(40年前)	総人口	30,542人
平成2年(20年前)	"	31,838人
平成17年(5年前)	"	28,972人
平成22年(現在)	"	28,317人(※)



◆一般会計予算の増減◆



にかほ市の人口、財政規模を、現在と5年前、20年前、40年前で比較しています。

●人口は国勢調査数値 ●一般会計予算は当初予算
※平成22年人口は同3月31日現在の住民登録者数
※合併前は旧3町の合計

して参加。市民の心に残る出来事の数々が、にかほ市の歴史をつくっています。

私は「一体感」という言葉有機會あることに使ってきました。地域の一体感を醸成することは、仁賀保、金浦、象潟、それぞれの特色を活かしたまちづくりのための要素と考えています。地域の課題に立ち向かうとき、重要な選択を迫られるときに、力強い味方になると考えます。

行政の合併に合わせ、ほかの団体・組織も合併、統合し「にかほ」の冠が付くようになりました。単なる名称・呼称の統一が一体感をもたらすものではありませんが、別々だった組織が、

一つの同じ目標に向けて動き出しているのです。

船が大きければ、動き出して加速するまで、より大きなエネルギーが必要とされます。最初は抵抗、摩擦もあるでしょう。それでも、前に向かって進む。5年間で、そのための準備が進んだと考えています。

今後の課題について。地方でも国全体でも、少子高齢化の伸展は現実です。社会が成熟すると出生率が低下するのは人間社会の傾向であるとのことです。高齢化?人生を長く健康に謳歌できる、素晴らしいことです。

次ページへ続きます



よこやまだなが 横山忠長 昭和22年生まれ

【略歴】
平成16年6月から17年9月象潟町長。同17年11月から、にかほ市長(現在2期目)。